

市内の高等学校を訪問して

寒い毎日が続きます。あと数日で今年も終わり、いよいよ残り少なくなってきました。

さて、11月の終わりから12月にかけて尼崎市内の高等学校へ行く機会が何度かありました。まず、尼崎市立双星高等学校の開校式典、次に定時制の尼崎市立尼崎工業高校へ創立40周年記念式典、そして、県立尼崎高校へ授業参観です。

さて、双星高校開校式典の日はあいにくの大雨でした。しかし校舎にはいると在校生徒が大きな声の挨拶で出迎えてくれ、気持ちよく式典に出席できました。校舎は真新しく、ピカピカです。美しい環境で学習できる生徒はしあわせですね。

次は、定時制の市立尼崎工業高校の創立40周年記念式典について。式典の中で特に印象的だったのは、生徒会長の式辞です。高校生というより、もう大人としての決意を述べていました。後日、小河校長先生とお話しする機会がありました。「彼は入学時は有名なワルという評判でした。でも、市尼工で学ぶうちに生活態度が大きく変わり、人間的にもずいぶんと成長してくれました。今では本校になくてはならないリーダーです」と教えてくれました。

最後に県立尼崎高校の授業参観についてです。高等学校の授業はどんな様子かと興味を持って見に行ってきました。私の中学生時代、「県尼」は名門校として知られていました。しかし、その後長く低迷が続きます。それが8年前、当時の和泉校長が「県尼ルネサンス」を合い言葉に、昔の輝かしい時代を復活させようと、学校改革を始められました。ルネサンスとは「復興」とか「再生」を表す言葉です。

高校生の普段の授業を見るのは本当に久しぶりでした。生徒もいろいろで必死に先生の説明を聞きノートをとっている人、余り集中できていない様子の人、中には寝ている人など様々でした。ただし、騒いで他人のじゃまをしている人はいませんでした。当たり前ですが。

誠実に生きること

色々な高校生を見て感じたことは、目標意識を持っている人とそうでない人の差はとても大きいということでした。人生には頑張り所というか踏ん張り所という場面が何度も繰り返り登場します。中学三年生を例にとってみると受験を控えた今こそその時ですね。

試験に真っ向から全力で立ち向かっている人には思わず「頑張れ」と応援したくなります。一方、大事な局面で全くやる気を見せない人もいます。どうでもよいと思っているのでしょうかそれとも照れくさいのでしょうか？こういう人には応援する気が湧いてきません。

この様な人は同じ高等学校に入学したとしても、三年後には大きな差がつくでしょう。しんどさを乗り越え、成功体験を一つずつ積んだ人はきっと大きくなります。なぜならば逃げずに立ち向かえたことにより、自分自身を信じられるからです。また、他人からの信頼もあつくなるでしょう。

入試だけではありません。自分がうまくいかない時、いつも人のせいにする人はいませんか？こんな人は成長しません。なぜなら他人のせいにした時点で自分の成長が止まってしまうからです。自分に何ができるのか、解決できる方法は何か、どう行動すればよいのかを考え続けることこそ成長の源なのです。これこそ自分に誠実に生きると言うことです。

今年を振り返って来年に備える

皆さんの教室に学級目標が貼ってあると思います。貼っていないなくても4月の学級開きのときに、担任の先生から今年度の目標についてお話があったことでしょう。さて、どれだけ達成できたでしょうか？また、皆さん一人一人は自分だけの目標を持っていますよね。年末はこの一年を思い出し、自己評価してみてください。その上で、来年をどんな年にするのか、それぞれの目標を紙に書いて部屋に貼っておいて下さい。

目標のないところに成長はありません。わたしも手帳に目標を書きます。